



各報道機関文教担当記者 殿

認知症医療と遺伝子医療のコラボレーション！ 認プロ・NGSD プロジェクト合同シンポジウムを開催

このたび、金沢大学では、文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラムの平成26年度採択事業である北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）と難病克服！次世代スーパードクターの育成（NGSDプロジェクト）による、合同シンポジウム「遺伝医療と認知症」を開催します。

金沢大学を中心とするグループは、認知症に関して高度な知識や技能を有し、地域における認知症診療・認知症対策のリーダーとなる認知症プロフェッショナル医師を養成するためのプロジェクト「北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）」に取り組んでいます。

また、信州大学を中心とするグループでは、最新の遺伝子解析を駆使し、小児期から老年期に渡る全領域の患者の遺伝性疾患を総合的にマネジメントできる医師を養成する事業「難病克服！次世代スーパードクターの育成（NGSDプロジェクト）」に取り組んでいます。

今回のシンポジウムは、両プロジェクトの分野の融合を図り、メインテーマを「遺伝医療と認知症」としました。著名な6名の先生方のご講演は、医師や研究者は勿論のこと多くの医療関係者にとって大変興味深い内容であり、最先端の情報を得ることができるばかりでなく、発想の転換や、異分野の融合を生む契機になるものと期待しております。

つきましては、事前および当日の取材・報道を、よろしくお願いいたします。

文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）
難病克服！次世代スーパードクターの育成（NGSDプロジェクト）
合同シンポジウム 『遺伝医療と認知症』

日時 平成28年12月18日(日) 13:00～16:40
場所 ANAクラウンプラザホテル金沢・3階「鳳の間」（金沢市昭和町16-3）
対象 どなたでもご参加いただけます（入場無料、申込不要）
詳細 別添チラシのとおり

本件照会先：北陸認プロ運営事務局

Tel：076-265-2149

E-mail：ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

広報担当：金沢大学総務部広報室 寺口

Tel：076-264-5024

E-mail：koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ) 難病克服! 次世代スーパードクターの育成(NGSDプロジェクト)

合同シンポジウム

※専門性の高い学術的シンポジウムです。

テーマ「遺伝医療と認知症」

プロジェクト紹介

[認プロ]

プロジェクトリーダー・山田 正仁 | 金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科学) 教授

[NGSDプロジェクト]

事業統括・福嶋 義光 | 信州大学医学部遺伝医学・予防医学教室 教授

セッションⅠ.

遺伝子医療の新展開

1. 包括的遺伝医療の実際
古庄 知己 | 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター副センター長・准教授
2. 遺伝子解析研究・検査法の新展開
難波 栄二 | 鳥取大学生命機能研究支援センター長・教授
3. 遺伝子疾患治療の最前線: 脊髄性筋萎縮症
斎藤 加代子 | 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター所長・教授

セッションⅡ.

認知症の遺伝的側面

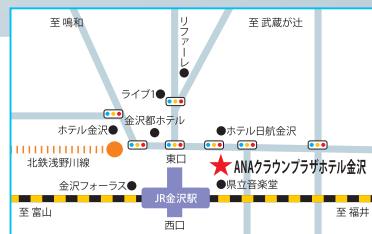
1. アルツハイマー病の遺伝的因子と臨床的意義
池内 健 | 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター遺伝子機能解析学分野・教授
2. 家族性アルツハイマー病: DIAN研究を中心に
森 啓 | 大阪市立大学大学院医学研究科脳血管内治療・頭蓋底外科病態学寄附講座・特任教授
医療法人崇徳会 田宮病院・顧問
3. ヒトiPS細胞による認知症研究
井上 治久 | 京都大学 iPS細胞研究所・教授

日時/2016年 **12月18日(日)** 13:00~16:40
場所/ANAクラウンプラザホテル金沢 3F「鳳の間」
〒920-8518 石川県金沢市昭和町16-3(JR金沢駅東口側) TEL:076-224-6111

参加
無料

このシンポジウムに参加ご希望の方は、認プロホームページからお申し込みください。 URL: <http://ninpro.jp/>

●お問合せ/北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学医薬保健学域医学類B棟2階 TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 e-mail: ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp



プログラム

開会の挨拶

13:00～13:05 金沢大学学長 山崎 光悦（認プロ事業推進代表者）

プロジェクト紹介

13:05～13:15 認プロ・プロジェクトリーダー 山田 正仁
金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科学）教授

13:15～13:25 NGS D・事業統括 福嶋 義光
信州大学医学部遺伝医学・予防医学教室 教授

セッションⅠ. 遺伝子医療の新展開

座長：福嶋 義光（信州大学）／川崎 康弘（金沢医科大学）

13:25～13:55 「包括的遺伝医療の実際」
古庄 知己 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター 副センター長・
准教授

13:55～14:25 「遺伝子解析研究・検査法の新展開」
難波 栄二 鳥取大学生命機能研究支援センター センター長・教授

14:25～14:55 「遺伝子疾患治療の最前線：脊髄性筋萎縮症」
斎藤 加代子 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター 所長・教授

14:55～15:05 休憩

セッションⅡ. 認知症の遺伝的側面

座長：山田 正仁（金沢大学）／斎藤 加代子（東京女子医科大学）

15:05～15:35 「アルツハイマー病の遺伝的因子と臨床的意義」
池内 健 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学
分野・教授

15:35～16:05 「家族性アルツハイマー病：DIAN 研究を中心に」
森 啓 大阪市立大学大学院医学研究科脳血管内治療・頭蓋底外科病態学
寄附講座・特任教授／医療法人崇徳会 田宮病院・顧問

16:05～16:35 「ヒト iPS 細胞による認知症研究」
井上 治久 京都大学 iPS 細胞研究所・教授

閉会の挨拶

16:35～16:40 金沢大学理事（国際・附属病院・同窓会担当） 山本 博